

# 新規インストール時にOnTimeGC Config DBで行う設定の流れ

OnTimeGC  
Config DB

## Config DBでの設定の流れ

- ・OnTimeタスクを実行するサーバーに作成します。
- ・[1.設定]をまで準備できれば、すぐにご利用可能な状態です。
- ・OnTimeタスクを実行するサーバー全てでレプリカを作成します。

※画面サムネイルをクリックすると詳細説明が表示されます。

タスク実行  
までの  
初期設定

### 1. 設定

#### Global Settings

- ・Config DBに1文書だけ作成します。
- ・マルチドメイン環境の場合はこの文書で複数のnames.nsfを指定です。
- ・表示するユーザー名をNotes式で設定します。(日本語名も設定可能です)
- ・並び順の条件指定もNotes式で設定します。(ふりがなも設定可能です)
- ・使用するバージョンのテンプレートを保管するフォルダを指定します。
- ・[Disable ACLs]を有効にすると、別項のRolesだけで予定への権限が制御されます。

#### Server Settings

- ・OnTimeタスクを実行するサーバーごとに1文書作成します。
- ・このサーバーで管理するメールサーバーを複数値で指定します。
- ・ログの取得深度の指定をします。

#### Roles

- ・スケジュール管理に対する権限設定をします。
- ・実行はメールのプリファレンスと、この[roles]権限の高い方が適用されます。
- ・デフォルトは[空き時間参照]のみで、メールのプリファレンスがそのまま適用されます。

#### Name Formats

- ・名前表示の書式設定を設定します。
- ・Global Settingsで設定した日本語表記を使用する場合は[DisplayName]を選択します。
- ・人、会議室、リソース毎にそれぞれ1行目、2行目、3行目の表示内容を指定出来ます。

#### Default Settings

- ・エンドユーザーの初回起動時の状態をユーザーグループ毎に設定します。
- ・Language、Regionの設定は日本語を指定してください。
- ・名前表示書式設定 (Name Formats)もユーザーグループ毎に選択できます。
- ・ユーザーの初回起動時の負荷を減らす場合、[Disable 'Show All' group]を有効に。
- ・SameTimeのStandardライセンスをお持ちの場合、[Sametime]を有効に。

ここでServer Settings文書から  
[Install/ Update Task]を実行

### 2. グループ

#### Dynamic

- ・グループは以下の3種類の方法で指定できます。
- ・すぐに反映するには[Admin]を実行して下さい。

#### Static

- ・Notes式で指定することで自動的にグループを生成します。
- ・カテゴリ名が同じなら、複数の文書で指定してもまとめて表示されます。
- ・DB名とビュー指定でアドレス帳以外もグループに利用できます。

#### Directory

- ・アドレス帳からグループやユーザーを個別に指定して利用できます。

#### Dynamic

- ・アドレス帳上のグループを自動生成します。
- ・表示名や作成するグループタイプを指定できます。

タスク  
開始後  
に行う  
各種  
表示設定

### 3. 凡例

#### Legends

- ・バーチャートの色分けを指定できます。
- ・表示名と色を指定する凡例設定と、その条件を複数で指定。

#### Legend Configuration

- ・色指定をします。
- ・各言語別表示名を指定します。
- ・日本語表示は[ja:]とともに文言を指定します。

#### Legend Item Configuration

- ・Typeを[Formula]にし、Notes式を使用して条件を設定します。
- ・条件重複時の優先順位を数値を用いて設定します。